

# “桐林クリーンセンター完成”

## — 桐林上段地域開発の進行 —



本格稼動を始めた桐林クリーンセンター

平成元年三月二十六日桐林クリーンセンター竣工式。

同年三月二十三日開業式。同年十二月二十二日桐林クリーンセンター試運転開始。

同日竜丘自治協議会公書協定締結。同日地権者組合単価協定各々調印。昭和六十二年一月二十三日桐林上段開発全地権者と売買合意調印。

桐林クリーンセンターはこの四月一日から本格的な稼動に入り、毎日のように見学者が訪れていると聞いております。

まず、桐林上段地域の開発構想が市側より地元を示されたのが昭和六十年三月の中旬で、全体面積は二十五ヘクタールに及ぶ広大なものであり、この中に広域事業であるごみ焼却場の建設と隣接地への運動場等の公用地、更に天竜川治水対策

策事業の土取り用地などを含めた一巻のものであった。地元桐林地区ではこの大規模な事業を受けて毎晩のように開いた各常会の協議の中で、大筋合意を集約したが、ごみ焼却場建設に伴う公害問題の心配があり対策委員会

飯田市、上郷町、松川町、高森町、豊丘村、喬木村の一市三町二ヶ村で構成する飯田衛生施設組合が事業主体となり、約二十億円の巨額を投じて建設を進めていた広域衛生施設桐林クリーンセンターが桐林上段地域に完成し、四月一日より本格稼動に入った。この施設は、十六時間に二百二十トンのゴミを焼却する能力を備え、また最先端技術の導入により公害を最小限に抑える施設とされる。完成までには様々な迂余曲折があったが、量的にも年々増加し、社会的課題となっているゴミ処理問題に対処する施設として大きな期待が持たれている。

その後、市及び飯田衛生施設組合との協議を重ねる中で、各種の要望事項が成案となりこれを条件として、ごみ焼却場の建設の承認と治水対策に係る関係する上取り事業など合せて一帯の開発計画が決定した。

地権者は、桐林地区を含めて七十余名であったが六十年の暮、関係者により売買単価の合意がなされ、ごみ焼却場の着工合意、公害協定の締結調印と共に同日調印がなされ今日の発展の出発となったわけである。

昭和六十年三月十一日、桐林上段開発懇談会、市側より開発構想の第一回説明会。同年三月二十九日区内の協議の集約として基本的合意。昭和六十二年九月二十日桐林地区、同二十九日竜丘自治協議会から市及び飯田衛生施設組合あて各種の要望事項へ提出。同年十月二十五日桐林地区、同十二月一日竜丘自治協会で市側から要望事項について回答。

昭和六十二年三月十一日、桐林上段開発懇談会、市側より開発構想の第一回説明会。同年三月二十九日区内の協議の集約として基本的合意。昭和六十二年九月二十日桐林地区、同二十九日竜丘自治協議会から市及び飯田衛生施設組合あて各種の要望事項へ提出。

その後、市及び飯田衛生施設組合との協議を重ねる中で、各種の要望事項が成案となりこれを条件として、ごみ焼却場の建設の承認と治水対策に係る関係する上取り事業など合せて一帯の開発計画が決定した。

長年の懸案でありましたクリーンセンターの建設と多目的運動広場の設置が、竜丘地区の皆様方の深いご理解と絶大な協力により、ここにオープンできましたことを、共に大変うれしく思うところでございます。住環境、とりわけ市民の衛生的かつ快適な生活環境を維持・向上させていくうえで、ごみ焼却施設は必要不可欠な施設でございます。『ごみの量は産業文化のパロメーター』ともいわれ、飯田市におきましても、また飯田衛生施設組合

に加入する町村におきましても、その量は年々増加しておりますとともに質的にも変化が見られ、この方面の整備が強く求められてまいりました。このたび建設致しました施設は、大気汚染・臭気・振動・排水・さらには焼却灰につきましても公害防止に十分配慮した、県下にも類を見ない文字どおりクリーンな施設だと考えております。一方、焼却施設から発生する余熱につきましても最大限に活用してまいりたい

と考えております。また、多目的運動広場は地元竜丘地区の皆様をはじめ、広く市民の健康・体力づくりの施設として多に活用していただきたいと考えています。今更申し上げるまでもなく、桐林上段地域は、緑豊かな自然環境の大変良いところであり、予定されている道路網の整備も含め飯田市の南部開発の拠点として、今後の飯田市全体の地域開発計画のうえで重要地域と考えているところでございます。

行政といたしましては、これらの施設を拠点といたしまして、住み良い生活環境づくりに最善の努力をすることはもちろんでございますが、地元の皆様方におかれましては、これらの施設を有意義に活用され、さらに天然記念物に指定されました『ギフチョウ』や上川路・桐林の史跡群など、歴史と文化と自然に育まれたこの地域の持つ貴重な財産を有効に結びつけていただき、幅広い地域の活動の中から『自分達の地域づくりは自らの手』を基本に『まちづくり』を進めていただければ、『子供達が誇りを持って生活する竜丘』が、必ずやさらに大きく広がるであろうと確信するものでございます。

燃焼ガスは電気集じん機で公害物質を吸い取られ、きれいにして最後に煙突から放出される。又、この過程で塩化水素除去装置など各種の公害物質を外に出さない装置がある。尚このガスの流れを利用して副次的に温水を取る仕掛けもここにあり、近く完成するプールに送られ余熱利用として活用されることになる。

ふるさと創生一億円事業の使途を市で募集したが、出たアイデアは百十件で、一地区平均六件というところで、これを多く見ると見ると、これを見るか意見が分かれるだろう。

いずれにしても、自分の住む地域の将来は自分で決めたい、人の意見を聞き、自分の意見も言う、誰もが参加でき誰もが意見を言える場が欲しい。

ふるさと創生一億円事業の使途を市で募集したが、出たアイデアは百十件で、一地区平均六件というところで、これを多く見ると見ると、これを見るか意見が分かれるだろう。

ふるさと創生一億円事業の使途を市で募集したが、出たアイデアは百十件で、一地区平均六件というところで、これを多く見ると見ると、これを見るか意見が分かれるだろう。

ふるさと創生一億円事業の使途を市で募集したが、出たアイデアは百十件で、一地区平均六件というところで、これを多く見ると見ると、これを見るか意見が分かれるだろう。

ふるさと創生一億円事業の使途を市で募集したが、出たアイデアは百十件で、一地区平均六件というところで、これを多く見ると見ると、これを見るか意見が分かれるだろう。

ふるさと創生一億円事業の使途を市で募集したが、出たアイデアは百十件で、一地区平均六件というところで、これを多く見ると見ると、これを見るか意見が分かれるだろう。

ふるさと創生一億円事業の使途を市で募集したが、出たアイデアは百十件で、一地区平均六件というところで、これを多く見ると見ると、これを見るか意見が分かれるだろう。

ふるさと創生一億円事業の使途を市で募集したが、出たアイデアは百十件で、一地区平均六件というところで、これを多く見ると見ると、これを見るか意見が分かれるだろう。

ふるさと創生一億円事業の使途を市で募集したが、出たアイデアは百十件で、一地区平均六件というところで、これを多く見ると見ると、これを見るか意見が分かれるだろう。

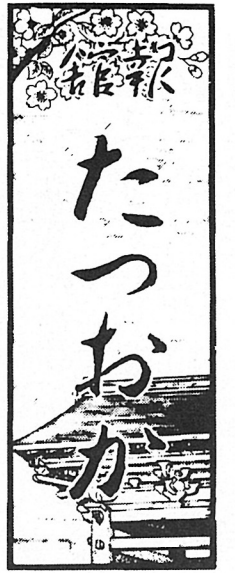
ふるさと創生一億円事業の使途を市で募集したが、出たアイデアは百十件で、一地区平均六件というところで、これを多く見ると見ると、これを見るか意見が分かれるだろう。

ふるさと創生一億円事業の使途を市で募集したが、出たアイデアは百十件で、一地区平均六件というところで、これを多く見ると見ると、これを見るか意見が分かれるだろう。

ふるさと創生一億円事業の使途を市で募集したが、出たアイデアは百十件で、一地区平均六件というところで、これを多く見ると見ると、これを見るか意見が分かれるだろう。

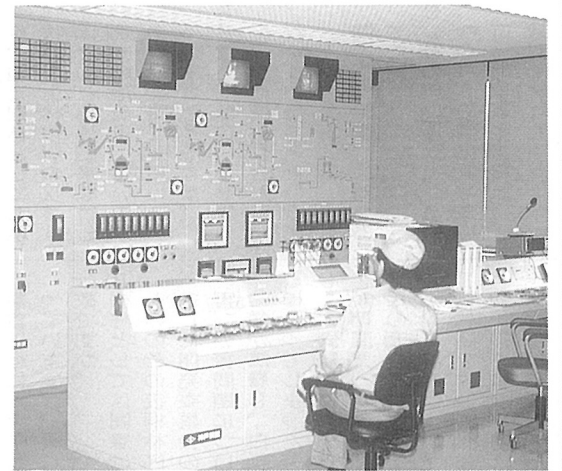
ふるさと創生一億円事業の使途を市で募集したが、出たアイデアは百十件で、一地区平均六件というところで、これを多く見ると見ると、これを見るか意見が分かれるだろう。

ふるさと創生一億円事業の使途を市で募集したが、出たアイデアは百十件で、一地区平均六件というところで、これを多く見ると見ると、これを見るか意見が分かれるだろう。



### 桐林 クリーンセンター 完成 特集号

発行所 飯田市竜丘公民館  
編集人 竜丘公民館広報委員会  
印刷所 龍共印刷株式会社  
上郷町黒田22-5353



目を光らせる中央制御室

燃焼ガスは電気集じん機で公害物質を吸い取られ、きれいにして最後に煙突から放出される。又、この過程で塩化水素除去装置など各種の公害物質を外に出さない装置がある。尚このガスの流れを利用して副次的に温水を取る仕掛けもここにあり、近く完成するプールに送られ余熱利用として活用されることになる。

燃焼ガスは電気集じん機で公害物質を吸い取られ、きれいにして最後に煙突から放出される。又、この過程で塩化水素除去装置など各種の公害物質を外に出さない装置がある。尚このガスの流れを利用して副次的に温水を取る仕掛けもここにあり、近く完成するプールに送られ余熱利用として活用されることになる。

今の日本の景気は財テクブーム・金余りに代表されるように活況を呈し、元号をとって平成景気と呼ばれ、昭和四十年代前半のいざなぎ景気に匹敵するものだと いわれる。



# 地元市会議員に聞く

クリーンセンター・桐林総合運動広場の完成には、今後ますます変わっていくであろう竜丘地区をどのように考えているか、竜丘地区在住の市会議員三氏の方に、次の三項に絞って質問をいたしました。

- (一) クリーンセンター、運動広場の完成にあたっての所感
- (二) 土取り場の跡地利用も含めた今後の桐林上段地域の開発について
- (三) 竜丘地区の将来展望について

## 歴史と文化の地域づくりを

下平 一郎

(一) 消費生活の高度化、住民意識の多様化によって、大都市圏のみならず、市町村部に於いても、ゴミの処理水質汚染等、いわゆる生活公害が、クローズアップされ、地域環境の質の向上が

求められている今日の現状を考慮し、生活環境施設の整備を適切、かつ早急に行っていくことが課題となっている。

幸にしてこの桐林に建設されたクリーンセンターは

(二) 土取場の跡地利用について

建設に至るまでには桐林住民を始め竜丘地区民の多大なご理解とご協力によって、一市三町二ヶ村の施設組合による近代的な機能を有する、ゴミ焼却処理施設が完成されました。当然ながら地元要望は年次計画で約束処理をして公害の不安解消に努力をして参ります。

尚建設に際しての地元要望による大きな施設として勤労者総合福祉センターA型、それに併用して余熱利用による温水プール、多目的な運動広場はすでに完成老若男女が楽しみながら体育の向上と健康管理を図り野球、テニス、ゲートボール場等大いに活用される広場でございます。

(三) クリーンセンターの完成に続き、地元の待望して

居ったグラウンドも整い、隣接地には、クリーンセンターの余熱利用を中心とした福祉センターの建設も進められて居り、墓地公園に続くあふ山林がこんな素晴らしい姿に生れ変わるとは、正

## 先取り精神で

小林 三郎

(二) 関連が深く、この竜丘地区の将来展望は、資源の少ない地区だけに、知的資源によって生み出し、そのためには、やはり天竜川治水対策事業との、改変される、土地の活用を合せて、歴史的な古墳の保全整備、地区内の居住環境の改善、リニア幹線、三遠南信自動車道の具体化による、この地区の道路網体系の確立をするための土地利用方針として、商業地、工業地、住宅地、農地、その他として時又港の整備、歴史と文化性の高い竜丘地域づくりを近隣合意の上で一体となって推進を図ることであると見なされています。

に目を見はるばかりであります。これも地域の関係者の御協力と御努力のたまものであり、御同慶にたえま

隣接地には工場の進出も伝えられて居り、クリーンセンターの受入れに始まった桐林上段開発も、順調に軌道に乗って来まして。

今後は周辺の自然を利用した森林公園等を造成し、美しく、楽しい地域を考えたいらうでしょうか。

(一) 多年の懸案であったゴミ焼却場が桐林地区の御理御事と事務手続き上の必要性があった事、又自治会としても任期年度内に何とか目途をつけたいという意図があった。

Aそれで桐林区としてはどの様な反応だったのですか。

Cゴミ焼却場といっても従来のものと違い煙が出るわけがなく、現時点では最も公害の無い施設であるという市側の説明もあり、地元桐林としても現状では山林からの収益はほとんど期待出来ないし、荒廃農地も多く買手があれば売っても良いという地権者も多かった。

B各常会では自治会も説明に入り何度も合意が持たれたが、焼却場というイメージや公害問題、道路問題で慎重論、反対もあった。

C公害の無い施設というのならゴミの排出量の多い市街地に造ったらという意見もあった。

A他の区の動きはどうだったのですか。

## 地域開発総点検を

澤柳 辨治郎

(二) 今日飯田市の施策として若者の定着対策が大きな課題であるので、この地域一帯に優秀な企業を誘致し若者たちに魅力ある街づくりを強力に推進する必要があると考えます。それには先づ道路網整備が前提であり桐林上段一帯が飯田インナー、また市の中心部へ至近距離となるよう開かれたい地域として、新たな時代の要請に立ち近代の開発を進める必要があります。

運動広場については社会体育施設としてスポーツ振興、市民の体力づくりの拠点として高度に活用される

よう、併せてあの一帯が市民いこの場として環境が一段と美化されるよう市民マナーの向上にも期待をかけるものであります。

(三) 今日飯田市の施策として若者の定着対策が大きな課題であるので、この地域一帯に優秀な企業を誘致し若者たちに魅力ある街づくりを強力に推進する必要があると考えます。それには先づ道路網整備が前提であり桐林上段一帯が飯田インナー、また市の中心部へ至近距離となるよう開かれたい地域として、新たな時代の要請に立ち近代の開発を進める必要があります。

運動広場については社会体育施設としてスポーツ振興、市民の体力づくりの拠点として高度に活用される

(三) 竜丘地区固有の立地条件を大切に周到なる基本構想と計画を策定すべきと考えます。産業基盤の整備、交通網の整備を基盤とし、人口密集地帯の将来の推移を厳密に把握し、総合的判斷に立つ社会資本投下を図らないと後世に悔を残すこととなります。南部地区教育文化センター、古墳公園、民俗資料館、ギフチョウ公園・鈴岡公園・万寿山公園・臼井秘境の整備、時又港の開発整備等々、枚挙に暇なき課題が山積されているが関連性あるものは関連づけ地域開発総点検の立場から地域の皆様との交流を深める中でその方向を見出し取組んで参りたいと考えます。

## 未来に向けて

飯田衛生施設組合の長年

A飯田衛生施設組合の長年の懸案だったゴミ焼却場「桐林クリーンセンター」が出来ました。

Bゴミ焼却場、迷惑施設というイメージから今迄に上郷や下久堅にも話があったが、公害問題や受入条件等で合意出来ない経過があった。

Aそんな状況の中で何故桐林が候補にあがったのですか。

丘陵地区の強い要望だった運動公園や他の地域課題を早期に実現しようという思惑があった。

Bこれらの状況の中で当時の市議員より話を持ち掛けられ、竜丘自治会としても受入れる方向で話を進めた。

C桐林にゴミ焼却場をという話は五十九年秋頃から耳にしたが、正式に地元桐林区民に知らされたのが、六十年三月十一日だった。しかも年度内には受入れ合意が否か返答をという急な事だった。

Aこれ程広域的な重要施設にもかかわらず何故その様な急な話だったのですか。

てゆくものと思うし、当然産業の形も順次変わってゆくものと思う。竜丘は飯田の中心まで車による通勤十五分以内と云う地の利に恵まれて居り都市化が急速に進むことになり、地域をあげて先取り精神で立ち向かってゆくべきだと思います。

B自治会では隣接区の駄科上川路へも説明会を行なって来たが、建設予定地の桐林の出入次第という事で表立った動きはひかえていた。

C結局自治会、桐林区会の一体の動きの中で焼却場運動場を含む一連の桐林上段開発計画について、委員会を組織し前向きに検討するという同意書を交し三月二十九日付けで受入に同意した。

A六十年三月の同意後、工事着工迄に一年半もかかっています、それは何故ですか。

B桐林としては同意はしたもののその後桐林区で組織した開発委員会の中で再び公害問題についての論議が沸騰し、白紙状態になってしまった。

C受入同意迄にあまりにも短期間だった為に地元住民の充分な理解や不安を拭い去れなかった。

B桐林区では公害への不安が一掃されない内に受入条件について考えられなかった。

C桐林区では竜丘全体を考慮した要望事項と各常会より出された要望事項を比較し、回答を得た後これを

了承し、公害防止協定、売買契約を結んだが、区の方山を売るかについては先祖伝来の地であり愛着があり反対も多かった。

A六十年十二月の着工合意で具体的に工事が進められ完成したわけですが、しばらく試験焚きが出来ない事がありました。

Bゴミ焼却場と天竜川治水対策とは本来別の問題であるにもかかわらず、一連の桐林上段開発として用地売買が進められた為そこに問題を生じその解決に手間どった事と、要望事項を充していない等の理由で地元としては試験焚きを認めなかった。

C結局六十二年十二月、市との話し合いもつき試験焚きが始まり、この四月一日より本格稼働に入りました。

A色々な問題をかかえ完成した「桐林クリーンセンター」ですが、治水対策や今後の地域開発に向けて今回の教訓を生かして行く事が大切だと思います。

B焼却場関連で長年の地域課題だった運動場や保育

# 桐林上段開発計画



C桐林には墓地公園二期工事用の土地を所有していたし、びる田周辺を工場団地にしようという構想があった事、又天竜川治水対策の土取場として桐林の山林を予定していた事等だが、自治会でも竜

に目を見はるばかりであります。これも地域の関係者の御協力と御努力のたまものであり、御同慶にたえま

隣接地には工場の進出も伝えられて居り、クリーンセンターの受入れに始まった桐林上段開発も、順調に軌道に乗って来まして。

今後は周辺の自然を利用した森林公園等を造成し、美しく、楽しい地域を考えたいらうでしょうか。

(一) 多年の懸案であったゴミ焼却場が桐林地区の御理御事と事務手続き上の必要性があった事、又自治会としても任期年度内に何とか目途をつけたいという意図があった。

Aそれで桐林区としてはどの様な反応だったのですか。

Cゴミ焼却場といっても従来のものと違い煙が出るわけがなく、現時点では最も公害の無い施設であるという市側の説明もあり、地元桐林としても現状では山林からの収益はほとんど期待出来ないし、荒廃農地も多く買手があれば売っても良いという地権者も多かった。

B各常会では自治会も説明に入り何度も合意が持たれたが、焼却場というイメージや公害問題、道路問題で慎重論、反対もあった。

C公害の無い施設というのならゴミの排出量の多い市街地に造ったらという意見もあった。

A他の区の動きはどうだったのですか。

てゆくものと思うし、当然産業の形も順次変わってゆくものと思う。竜丘は飯田の中心まで車による通勤十五分以内と云う地の利に恵まれて居り都市化が急速に進むことになり、地域をあげて先取り精神で立ち向かってゆくべきだと思います。

B自治会では隣接区の駄科上川路へも説明会を行なって来たが、建設予定地の桐林の出入次第という事で表立った動きはひかえていた。

C結局自治会、桐林区会の一体の動きの中で焼却場運動場を含む一連の桐林上段開発計画について、委員会を組織し前向きに検討するという同意書を交し三月二十九日付けで受入に同意した。

A六十年三月の同意後、工事着工迄に一年半もかかっています、それは何故ですか。

B桐林としては同意はしたもののその後桐林区で組織した開発委員会の中で再び公害問題についての論議が沸騰し、白紙状態になってしまった。

C受入同意迄にあまりにも短期間だった為に地元住民の充分な理解や不安を拭い去れなかった。

B桐林区では公害への不安が一掃されない内に受入条件について考えられなかった。

C桐林区では竜丘全体を考慮した要望事項と各常会より出された要望事項を比較し、回答を得た後これを

了承し、公害防止協定、売買契約を結んだが、区の方山を売るかについては先祖伝来の地であり愛着があり反対も多かった。

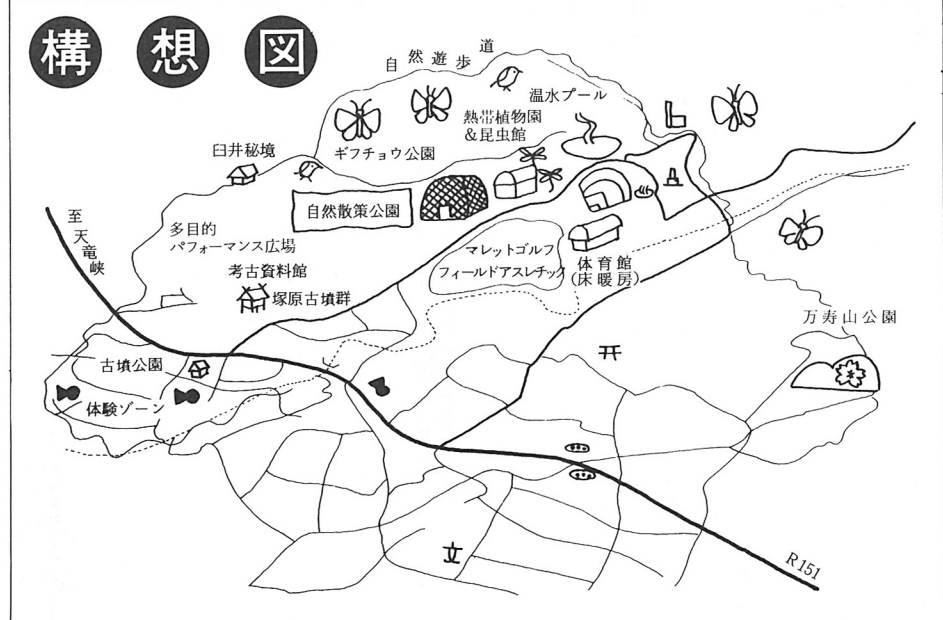
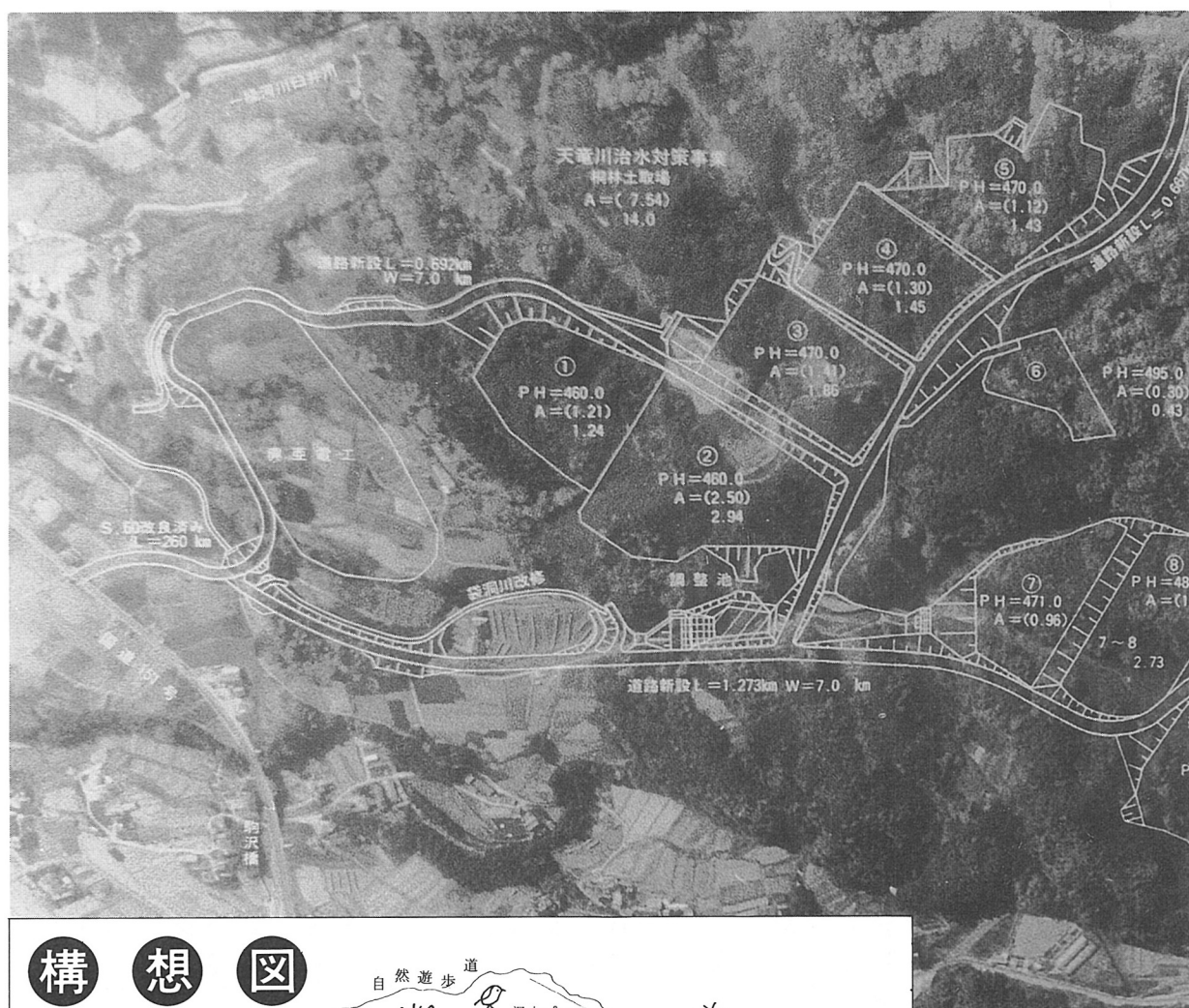
A六十年十二月の着工合意で具体的に工事が進められ完成したわけですが、しばらく試験焚きが出来ない事がありました。

Bゴミ焼却場と天竜川治水対策とは本来別の問題であるにもかかわらず、一連の桐林上段開発として用地売買が進められた為そこに問題を生じその解決に手間どった事と、要望事項を充していない等の理由で地元としては試験焚きを認めなかった。

C結局六十二年十二月、市との話し合いもつき試験焚きが始まり、この四月一日より本格稼働に入りました。

A色々な問題をかかえ完成した「桐林クリーンセンター」ですが、治水対策や今後の地域開発に向けて今回の教訓を生かして行く事が大切だと思います。

B焼却場関連で長年の地域課題だった運動場や保育



園の移転も実現出来たが竜丘にはまだ山積された問題が山あり、今後は竜丘自治会が窓口となってその解決にあたらなくてはならない。

C 今回の様に区単独で進めていく事は、問題が大きくなればなる程無理があり、ひいては住民利益の損失につながる。

B 自治会や公民館も含め積極的

## 竜丘のビジョンを

かつて桐林区民、ひいては竜丘地区の財産であった山林が、墓地公園、クリーンセンター、運動広場等として生まれ変わりました。ここ数年の桐林上段地域の急激な変貌ぶりには目を見張るものがあります。今後天竜川治水対策事業が具体化してくれば、隣接する山林地帯にも埋め立て用の土を搬出した跡地として広大な敷地が出現し、様相はこれまで以上に大きく変わってくるでしょう。この地域の開発の行方は、単に該当する桐林区だけでなく竜丘地区全体の将来にも大きな影響を及ぼすものであります。今後、地区を挙げての十分な協議検討を重ねる中で、そのあり方を考えていく必要があります。

土地は、個人の財産であると同時に、地域の貴重な共有財産であり、住民の幸福をもたらすための生産や生活の基盤でもあります。従って、その利用については、地域住民が広い視野と

長い見通しを持って充分に話し合い、共通理解の上で進めていくことが肝要といえます。この観点から、これまでの桐林上段開発を振り返ってみると実に大きな問題を内包していたと言えます。それは、特にクリーンセンターの建設を中心とする一連の経過において、これだけの重要事業であったにも拘らず竜丘地区全体の問題として捉え、地域を挙げて考えようとする気運が盛り上がりなかつたことであり、裏を返せば、この竜丘に地区毎の閉鎖性を超えた地区民の総意ともいえるような「ビジョン」がなかつたということでもあると思います。桐林上段開発を含め、今後、魅力ある竜丘づくりを進めていく上では、地域住民が広い視野と、将来を見通した視点をもって充分に話し合い、地域の「ビジョン」を打ち立てることが極めて重要であると思います。また、このビジョンづくりにおいては、

「自然・文化公園」とは上図に示すように、竜丘の自然環境や文化遺産等を活用して、静かな側面と動的な側面の両方を兼ね備えた公園ですが、この提案をする一番の根拠は「個性」を持った地域づくりを行っていかねければ、この竜丘は、魅力ある地域にはなりえないということなのです。現在、高度情報化社会の進行、高速交通網の整備等により、地域と住民生活の都市化は急速に進んでいます。これにより、確かに生活は便利になりますが、その反面、地域が画一的で無味乾燥な姿になってしまうという落とし穴があります。もしも、二十年、三十年先の竜丘地区が、この地域とも同じ

## 私の提言

竜丘国民学校初等科と言うときがありまして。終戦で竜丘小学校と言う現在の名前になりましたが、その第一回の卒業生の私が、竜丘中学校の先輩と、理科クラブに入れて貰って、白黒の部厚い動物図鑑をめぐって、昆虫採集の勉強をしました。先生も一緒になって理科室で、薪木をやすぐラマストープの上でさんまを焼いて喰べながら、一晩中自由研究をしました。その時の仲間や、後輩達が、静かにギフチョウを見守って来たのです。ところが六

## 意識の転換で「拓かれる竜丘」を

駄科 塩 沢 義 男

ふるさと生きものの里「百選の一つ」として「ギフ蝶公園」が選定されました。竜丘地区に昔から伝わって来たかげがえのない文化財、ギフチョウと古墳。どちら

も開発という名前の風に乗遇しようとしています。なにもを捨てて育てて活性化を図る地域もあります。あるものを再認識して活性化を図ることへの意識の転換のときに来ていると思

年間蝶の舞う楽園づくり。飯田美博の自然部門としてギフ蝶中心の昆虫館の建設をする。

一、ギフ蝶特別保護区の設定。限定して密度の濃い棲息地をつくり保護する。

一、遊歩道の開設をして自然に親しめる環境づくりをする。

一、塚原二子塚を復元して、飯田の古墳のシンボルにする。

一、塚原古墳部の保存のために運搬道路開設に当って駐車場も含めて、古墳保存に利する方向で進

## 焼却場は安全か！

ゴミ焼却場の建設に当り市側は一貫して、現在では最良の無公害施設で、公害防止設備にも、充分な配慮がなされていると説明してきた。

焼却場が本格稼働を始めたら現在地域住民が不安に思う事は、公害防止設備の機能が当初の予定通りに発揮

「自然・文化公園」とは上図に示すように、竜丘の自然環境や文化遺産等を活用して、静かな側面と動的な側面の両方を兼ね備えた公園ですが、この提案をする一番の根拠は「個性」を持った地域づくりを行っていかねければ、この竜丘は、魅力ある地域にはなりえないということなのです。現在、高度情報化社会の進行、高速交通網の整備等により、地域と住民生活の都市化は急速に進んでいます。これにより、確かに生活は便利になりますが、その反面、地域が画一的で無味乾燥な姿になってしまうという落とし穴があります。もしも、二十年、三十年先の竜丘地区が、この地域とも同じ

顔をした単なる都市化地域となっていたとしたら、「魅力的な地域」(今後生まれてくる子供たちも含めた全ての地区民が愛着をもてる地域)とは思えないのではないのでしょうか。これからは、現在の都市部の抱える病的な症状をもっとよく認識し、その反省に立つた上で、他の地域に歩調を合わせることを指向するのでなく、地域の個性を引き出し、それを有効に活用していくような地域づくりを図っていかねば、魅力的な地域は望めないと思うのです。特に、この一帯は、古墳群やギフチョウというような、この地域にしか存在しない素材を有しています。これらの素材を活かしながら公園化し、全体として竜丘の個性として位置づけていく、こうした発想はこの地域だからこそできる発想です。

「自然・文化公園」の整備、建設もあくまで一つの案であり、当然にして、この他にも様々な考えがあるうかと思えます。しかし、いずれにしても、我々の住む竜丘の将来にも大きな関わりをもつ桐林上段開発は地域住民の周知の中で、今後の協議検討の中から導きだされた総意としての「ビジョン」に基づいて進めていくことが大切であると思

空文化しない様、地域住民、衛生施設組合の両者が、信用・納得できる第三者機関(大学研究室等を含む)の定期的な検査と、結果の公表をしていく事等の具体的方法を持って安全性を常にチェックしていく必要がある。それは、地域住民の健康を守り、快適でかつ良好な生活環境を守り育てていくことに他ならない。

桐林運動広場

完成までの経過と

今後の活用について

▼永らく、地区社会体育の懸案となっていた、桐林運動場がオープンしました。

▼完成までには、地区の強い要望があり、グラウンド問題検討委員会等で議論されてきました。今回の桐林クリーンセンター建設に伴い、地元の強い要望により、クリーンセンター下段に桐林運動広場、勤労者総合福祉センターが完成、着工をしました。

▼完成までには、地区の強い要望があり、グラウンド問題検討委員会等で議論されてきました。今回の桐林クリーンセンター建設に伴い、地元の強い要望により、クリーンセンター下段に桐林運動広場、勤労者総合福祉センターが完成、着工をしました。

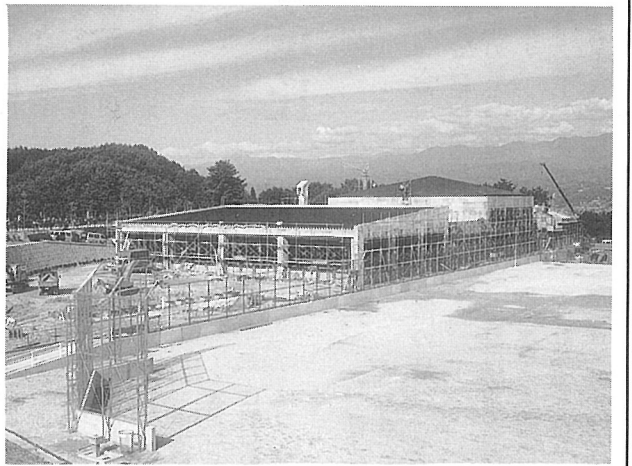
平成元年、この記念すべき年に当たり竜丘地区民の待望久しかった桐林運動広場が完成、この度オープンの運びとなったことを共に喜びたいと存じます。この際に完成までの経過の概要を述べ、今後の活用について皆様方の協力を得たいと存じます。市当局との交渉の過程で昭和五十五年頃、県営球場誘致が具体的な問題となつたわけですが、結局地理的に優位な伊賀良地区に決定しました。その後、市政懇談会、新

春放談話会等、機会あるごとに訴えた地区民の要望が遂に市当局を動かして具体的に候補地選定の段階となり、昭和五十九年、公民館に「グラウンド問題検討委員会」が設けられました。数ヶ所の候補地を選び実地踏査の結果、今回の運動広場の地籍を第一候補として、運動場と体育館を併設した設計図を作成、市当局へ早急実現を要望しました。時あたかもクリーンセンター建設が具体化して、地元公民館を中心として条件整備を検討した結果、総合運



地区民待望の桐林運動広場

動場を設置することに決定したことはご承知の通りであります。グラウンドの規模等については、自治会、公民館が中心となって市教委と折衝、スポーツ団体の代表者の意見等を集約する中、他スポーツのできる多目的運動場をメインとして、ゲートボール場二面、全天候型テニスコート二面(本年度完成予定)という総合運動場が実現することになりました。市営の運動場ですが、地区の皆様が愛着を抱き、存分に使っていたことが、有効利用につながることを思いますので、野球はもとより、ソフトボール、サッカー、ラグビー陸上競技等、隣接に建設される勤労者総合福祉センターの温水プール共々にご利用されるようお願いいたします。運動広場利用の手続き等については、竜丘公民館または教育委員会体育課にお問い合わせ下さい。



今秋完成予定の余熱利用施設

「足」の確保を

老人学園長 伊藤 陽 治

たしか昭和五十七年の文藝祭だったと思うが、長野原分館が地区民の切なる声として「竜丘地区に運動場を」とをテーマに、数々の資料を整えて参加したところ、大きな反響をよび、翌年には公民館文化委員会がこれの研究に入り、新春放談会には松沢市長が「大事に考えよう」と云ってくれたところまでに至りました。これが焼却場に関連して実現することになり、過日ギフチョウの監視の折に行つてみると大分事が進んで広々とした野球場、フェンスに囲まれたテニスコート、それにゲートボール場もあそこに...と心躍る思いでした。

しかし完成した暁に、場所が場所だけに、若者は別として吾々高齢者はどうやって此の素晴らしい施設を利用してやらねばならぬのか。過日の放談会の折に「中古でよいから大型ワゴン車を」とお願いしました。老人クラブも各部落に一人や二人運転できる者がいるか

消えゆく

古代のロマン

中田 美 稔

竜丘地区には縄文、弥生時代の住居址や、数多い古墳、更には宮洞地籍の須恵器の古窯群と、まさに古代遺跡の宝庫である。これ等の遺跡を開発の進歩の早い当地区で、どうやって保存したり調査研究を担って「古墳を考える会」の発足をみた矢先に、ゴミ焼却場へ伊賀良方面より入る道路が新設され、古窯群の中心地帯を壊滅してしまつた。

は、重く壊れ易いため、遠くから運び込むことは容易でなかった。当然生活圏の近くでの生産が不可欠となつた。須恵器が大陸から渡来する以前は、平窯で焼かれた土師系の土器で質も脆いのに反し、須恵器は登窯で高温で焼かれるため、硬質で扱い易く、その窯と技術は次第に各地へ伝播されて行つた。古墳文化を他地区に先馳けて受容した当地区では、河内より職人をいち早く招き、須恵器の生産を開始したものと考えられる。現在の「コウチが洞」の地名はそれに由来していると考え



かつての宮洞古窯跡

さわやかな園舎完成

竜丘保育園々長 伊藤 みち子

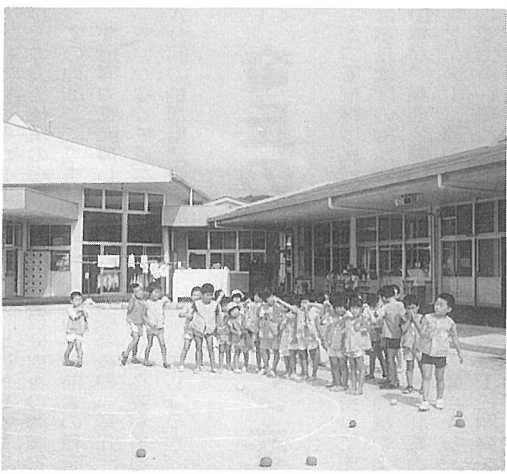
かねてから念願でありました竜丘保育園の新築も、この秋に完成し、新しい園舎が完成することです。地区皆さんの協力のおかげで、この立派な園舎を完成することができました。ご協力ありがとうございました。

目的ホールをはじめ開閉式トップライト、広い芝生つきテラスを併せて総ステンレスで衛生的で能率よく調理できる給食室等よりよい保育を進めるにはすばらしい環境でございます。今後、全国的にも園児減少の傾向にあり、又子ども達の縦のつながりが希薄になってきた中でも対応できるようにも考えられております。

使い易い運動場に

早起野球連盟会長 下平 澄 瑞

竜丘地区長年の悲願でありました総合運動場が関係各位の御尽力により、山紫水明景勝の地桐林に完成されつつあります。先ず場所が高台であり周囲がコンクリート壁の為ボールが見えにくく支障をきたしてあります。早急にバックネットと周囲の壁面の塗装をお願い致します。又バックネット周辺の排水処理と再度の鎮圧をお願い致します。更に利用度が高めスポーツ活動を活発化させる為に夜間照明の設置を要望致します。今後共皆様の御理解、御支援の程お願い致します。



歓声響く新園舎

竜丘保育園では、三月二十三日に新園舎の竣工式を行ない、二十六日には初めての卒園児を送り出しました。四月より新園児を迎え八十八名の園児が明るく、ゆつたりとした園舎で毎日元気に遊んでいます。この園舎の新築にあたりましては地域の皆様の御協力をいただき大変ありがたうございました。さて最近核家族化とともに共働き傾向が進み、子供達は家庭での保育に欠ける状態に置かれています。このような状況から長時間保育や、未満児保育を希望する家庭が多くなってきました。

響け園舎に、元氣な声

竜丘保育園保護者会長 林 洋 一

新園舎内にはこの様な要望にも応えられる様に未満児保育施設も組み込んでいただきました。これらの施設が十分に活用できる為には園児を送り出す家庭と受け入れて下さる保育園の先生方が十分に手をつなぐ事が大切だと思います。子供達が安心して保育園に通え、楽しい園生活が送れる様、保護者同士の横のつながりを充分にとっていきたいと思います。又、交通安全、水難事故防止の為に、危険箇所改善など地域の皆さんの御協力をお願いします。